



プロジェクターファームウェア 更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-G7900U

EB-G7400U

EB-G7200W

EB-G7000W

EB-G7800

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.2.00の概要.....	4
オプション品に関する変更 (Ver. 2.00)	4
ファームウェア Ver.2.10の概要.....	5
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)	5
操作方法に関する変更 (Ver.2.10)	5

ファームウェアの変更詳細について 6

オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 2.00)	7
ELPLW08をサポート	7
レンズシフトの移動範囲 (ELPLW08)	7
タテヨコ補正の補正範囲 (ELPLW08)	8
曲面投写補正の補正範囲 (ELPLW08)	8
コーナー投写補正の補正範囲 (ELPLW08)	8
投写距離 (ELPLW08)	9
ELPLM15をサポート	9
レンズシフトの移動範囲 (ELPLM15)	10
タテヨコ補正の補正範囲 (ELPLM15)	10
曲面投写補正の補正範囲 (ELPLM15)	10
コーナー投写補正の補正範囲 (ELPLM15)	11
投写距離 (ELPLM15)	12
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)	13
使用した環境設定メニューの記憶.....	13
EDID	13
アスペクト維持.....	13
全初期化(工場出荷状態).....	14
色温度のケルビン指定.....	14
クロスハッチテストパターンの色選択.....	15
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.10)	16
レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整.....	16

付録 17

一般のご注意	18
ご注意	18
商標について	18
著作権について	18

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

» 関連項目

- ・「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.4](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.5](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「オプション品に関する変更（Ver. 2.00）」 [p.4](#)

オプション品に関する変更（Ver. 2.00）

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- ・レンズユニットELPLW08
- ・レンズユニットELPLM15

▶ 関連項目

- ・「ELPLW08をサポート」 [p.7](#)
- ・「ELPLM15をサポート」 [p.9](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)」 [p.5](#)
- ・「操作方法に関する変更 (Ver.2.10)」 [p.5](#)

▶ 関連項目

- ・「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」
[p.16](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ・使用した環境設定メニューを記憶し、前回使用した設定を素早く呼び出し可能
- ・[映像] メニューに [EDID] を追加
- ・[設定] メニューに [アスペクト維持] を追加
- ・[初期化] メニューに [全初期化(工場出荷状態)] を追加
- ・すべてのカラーモードで色温度をケルビン(K)で設定可能
- ・クロスハッチテストパターンにRGBの各色を追加

▶ 関連項目

- ・「使用した環境設定メニューの記憶」 [p.13](#)
- ・「EDID」 [p.13](#)
- ・「アスペクト維持」 [p.13](#)
- ・「全初期化(工場出荷状態)」 [p.14](#)
- ・「色温度のケルビン指定」 [p.14](#)
- ・「クロスハッチテストパターンの色選択」 [p.15](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができる

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「オプション品に関する変更の詳細（Ver. 2.00）」 [p.7](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 [p.13](#)
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 [p.16](#)

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ELPLW08をサポート」 [p.7](#)
- ・「ELPLM15をサポート」 [p.9](#)

ELPLW08をサポート

ファームウェアをVer.2.00に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLW08が使用できます。レンズユニットELPLW08の仕様を説明します。

▶ 関連項目

- ・「レンズシフトの移動範囲 (ELPLW08)」 [p.7](#)
- ・「タテヨコ補正の補正範囲 (ELPLW08)」 [p.8](#)
- ・「曲面投写補正の補正範囲 (ELPLW08)」 [p.8](#)
- ・「コーナー投写補正の補正範囲 (ELPLW08)」 [p.8](#)
- ・「投写距離 (ELPLW08)」 [p.9](#)

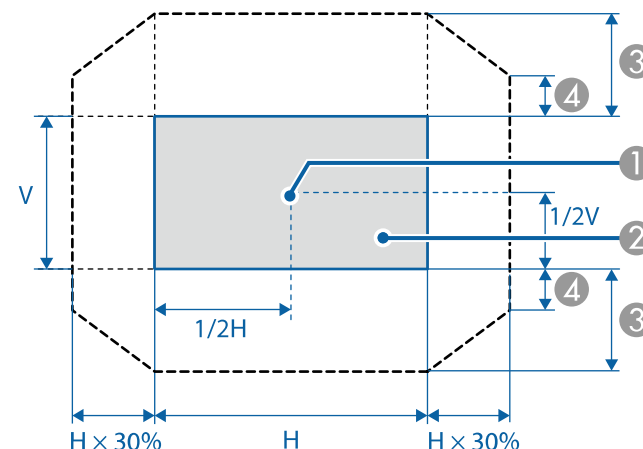
レンズシフトの移動範囲 (ELPLW08)

レンズシフトで映像を移動できる範囲は以下の通りです。



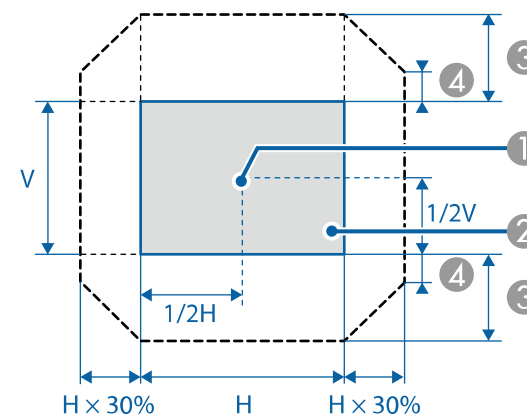
映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W



- ① レンズの中心
- ② レンズの位置をホームポジションに移動したときの投写映像
- ③ 最大可動領域： $V \times 67\%$
- ④ 左右方向が最大値の場合： $V \times 19\%$

EB-G7800



- ① レンズの中心
- ② レンズの位置をホームポジションに移動したときの投写映像
- ③ 最大可動領域：V × 57%
- ④ 左右方向が最大値の場合：V × 16%

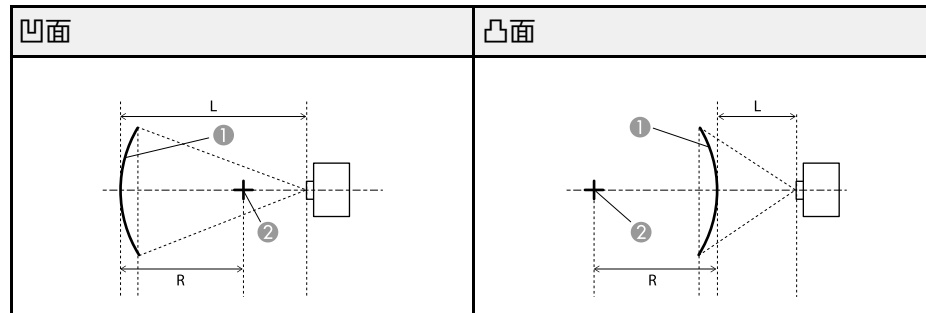
タテヨコ補正の補正範囲 (ELPLW08)

以下の範囲内で、タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正できます。

- ・ 垂直方向：-40° ～ +40°
- ・ 水平方向：-30° ～ +30°

曲面投写補正の補正範囲 (ELPLW08)

表内の数値は、図中のR/Lの最小値です。



- ① スクリーン
 - ② 曲面を描く円の中心
- L 投写距離
R 曲面を描く円の半径

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

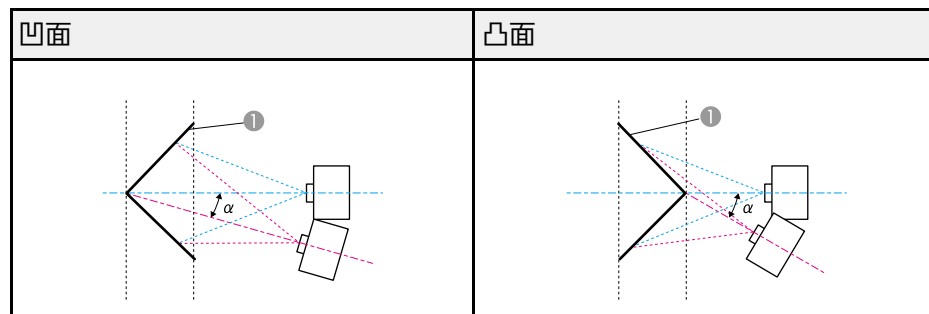
	上下レンズシフト： ホームポジション (R/L)	上下レンズシフト：最 上 (R/L)
水平曲面 (凹面)	0.33	0.34
水平曲面 (凸面)	0.79	0.84
垂直曲面 (凹面)	0.25	0.31
垂直曲面 (凸面)	0.42	0.50

EB-G7800

	上下レンズシフト： ホームポジション (R/L)	上下レンズシフト：最 上 (R/L)
水平曲面 (凹面)	0.31	0.32
水平曲面 (凸面)	0.70	0.72
垂直曲面 (凹面)	0.26	0.34
垂直曲面 (凸面)	0.43	0.59

コーナー投写補正の補正範囲 (ELPLW08)

図中のαは本機を移動できる最大角度です。



① スクリーン

α プロジェクターの移動可能角度

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

	上下レンズシフト：ホームポジション	上下レンズシフト：最上
水平コーナー（凹面）	33°	20°
水平コーナー（凸面）	12°	11°
垂直コーナー（凹面）	31°	12°
垂直コーナー（凸面）	18°	2°

EB-G7800

	上下レンズシフト：ホームポジション	上下レンズシフト：最上
水平コーナー（凹面）	32°	19°
水平コーナー（凸面）	12°	11°
垂直コーナー（凹面）	32°	12°
垂直コーナー（凸面）	16°	0°

投写距離 (ELPLW08)

次の計算式で投写距離を算出できます。



詳細な投写距離のシミュレーションが可能なツールもあります。

<https://www.epson.jp/products/bizprojector/simulator/>

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

- ・スクリーンタイプが16:10または16:9の場合
 - ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.18
 - ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.66
- ・スクリーンタイプが4:3の場合
 - ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.41
 - ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.99

EB-G7800

- ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.20
- ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 1.69

ELPLM15をサポート

ファームウェアをVer.2.00に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLM15が使用できます。レンズユニットELPLM15の仕様を説明します。

▶ 関連項目

- ・「レンズシフトの移動範囲（ELPLM15）」 [p.10](#)
- ・「タテヨコ補正の補正範囲（ELPLM15）」 [p.10](#)
- ・「曲面投写補正の補正範囲（ELPLM15）」 [p.10](#)
- ・「コーナー投写補正の補正範囲（ELPLM15）」 [p.11](#)

- 「投写距離 (ELPLM15)」 p.12

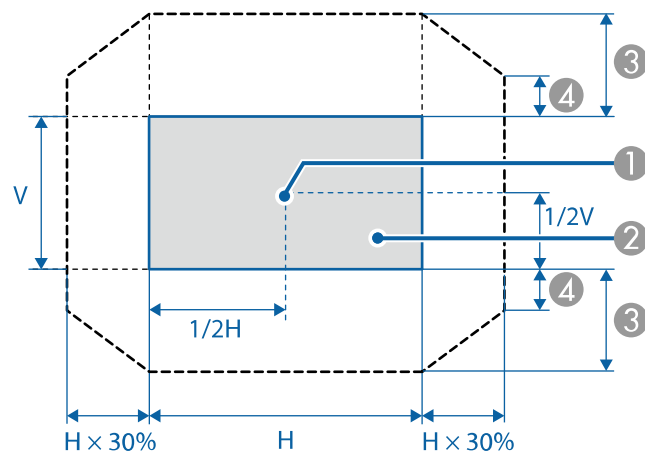
レンズシフトの移動範囲 (ELPLM15)

レンズシフトで映像を移動できる範囲は以下の通りです。



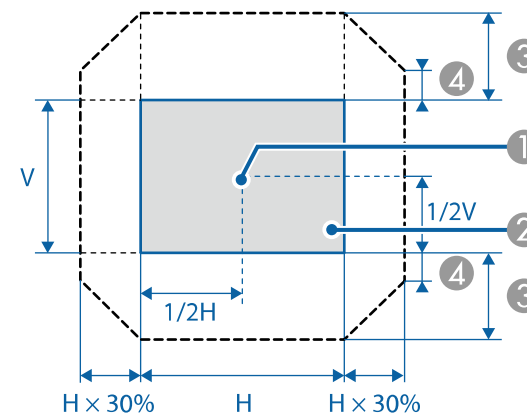
映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W



- ① レンズの中心
- ② レンズの位置をホームポジションに移動したときの投写映像
- ③ 最大可動領域： $V \times 67\%$
- ④ 左右方向が最大値の場合： $V \times 19\%$

EB-G7800



- ① レンズの中心
- ② レンズの位置をホームポジションに移動したときの投写映像
- ③ 最大可動領域： $V \times 57\%$
- ④ 左右方向が最大値の場合： $V \times 16\%$

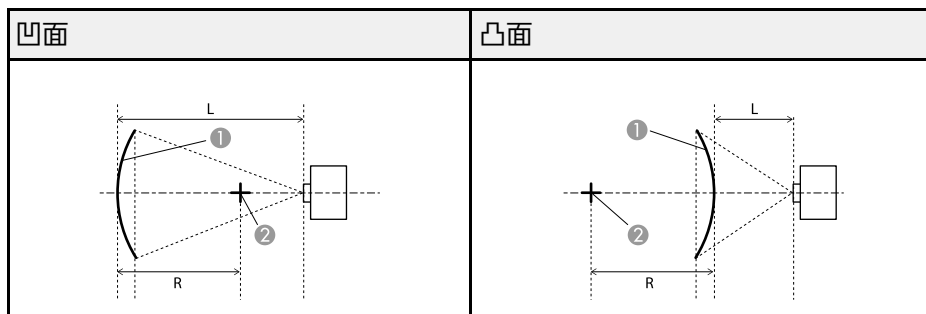
タテヨコ補正の補正範囲 (ELPLM15)

以下の範囲内で、タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正できます。

- ・ 垂直方向： $-45^\circ \sim +45^\circ$
- ・ 水平方向： $-30^\circ \sim +30^\circ$

曲面投写補正の補正範囲 (ELPLM15)

表内の数値は、図中のR/Lの最小値です。



- ① スクリーン
② 曲面を描く円の中心
L 投写距離
R 曲面を描く円の半径

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

	上下レンズシフト： ホームポジション (R/L)	上下レンズシフト：最 上 (R/L)
水平曲面（凹面）	0.21	0.22
水平曲面（凸面）	0.33	0.35
垂直曲面（凹面）	0.15	0.17
垂直曲面（凸面）	0.18	0.22

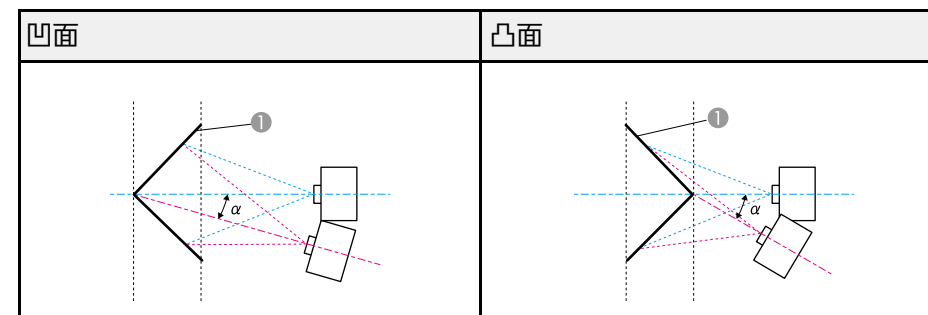
EB-G7800

	上下レンズシフト： ホームポジション (R/L)	上下レンズシフト：最 上 (R/L)
水平曲面（凹面）	0.20	0.20

	上下レンズシフト： ホームポジション (R/L)	上下レンズシフト：最 上 (R/L)
水平曲面（凸面）	0.31	0.31
垂直曲面（凹面）	0.16	0.19
垂直曲面（凸面）	0.21	0.26

コーナー投写補正の補正範囲 (ELPLM15)

図中の α は本機を移動できる最大角度です。



- ① スクリーン
 α プロジェクターの移動可能角度

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

	上下レンズシフト： ホームポジション	上下レンズシフト：最 上
水平コーナー（凹面）	31°	29°
水平コーナー（凸面）	19°	18°
垂直コーナー（凹面）	26°	15°

	上下レンズシフト： ホームポジション	上下レンズシフト：最 上
垂直コーナー（凸面）	22°	12°

EB-G7800

	上下レンズシフト： ホームポジション	上下レンズシフト：最 上
水平コーナー（凹面）	31°	28°
水平コーナー（凸面）	19°	19°
垂直コーナー（凹面）	29°	18°
垂直コーナー（凸面）	21°	11°

投写距離（ELPLM15）

次の計算式で投写距離を算出できます。



詳細な投写距離のシミュレーションが可能なツールもあります。

<https://www.epson.jp/products/bizprojector/simulator/>

EB-G7900U/EB-G7400U/EB-G7200W/EB-G7000W

- ・スクリーンタイプが16:10または16:9の場合
 - ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 2.16
 - ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 3.48
- ・スクリーンタイプが4:3の場合
 - ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 2.59
 - ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 4.18

EB-G7800

- ・最短投写距離（ワイド）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 2.20
- ・最長投写距離（テレ）（cm）＝スクリーン幅（cm）× 3.56

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「使用した環境設定メニューの記憶」 [p.13](#)
- ・「EDID」 [p.13](#)
- ・「アスペクト維持」 [p.13](#)
- ・「全初期化(工場出荷状態)」 [p.14](#)
- ・「色温度のケルビン指定」 [p.14](#)
- ・「クロスハッチテストパターンの色選択」 [p.15](#)

使用した環境設定メニューの記憶

メニューを終了するときに、使用したメニュー設定を記憶します。前回使用したメニュー設定に再度素早くアクセスできます。

- ・【メニュー】 ボタンを押して再度メニュー画面を表示すると、前回使用したメニュー設定が選択された状態で表示されます。



以下のメニューを操作した後は初期画面に戻ります。

- ・テストパターン
- ・フォーカス、ディストーション、ズーム、レンズシフト
- ・ガンマ
- ・液晶アライメント
- ・ユーザーロゴ
- ・タイリング
- ・黒レベル調整
- ・日付/時刻設定
- ・ネットワーク設定
- ・全初期化(工場出荷状態)

- ・【戻る】 ボタンを長押しすると、一番上の階層のメニュー画面を表示します。
- ・本機の電源をオフにすると、メニュー操作は初期画面に戻ります。

EDID

〔映像〕メニューに〔EDID〕が追加されます。

変更前の映像メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像	アドバンスト	ビデオレンジ
		入力信号方式
		映像処理

変更後の映像メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像	アドバンスト	ビデオレンジ
		入力信号方式
		映像処理
		EDID

EDID設定で、機器に通知するプロジェクターの解像度情報を設定します。



EDIDは、カレントソースがHDMI、DVI-D、HDBaseTのときのみ設定できます。

アスペクト維持

〔設定〕メニューに〔アスペクト維持〕が追加されます。

変更前の設定メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリ ティ
			垂直リニアリ ティ

変更後の設定メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリ ティ
			垂直リニアリ ティ
			アスペクト維持

アスペクト比を維持しながら映像の伸縮を補正するときは、[アスペクト維持] を [オン] に設定します。

全初期化(工場出荷状態)

[初期化] メニューに [全初期化(工場出荷状態)] が追加されます。

変更前の初期化メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	ランプ点灯時間初期化	

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
	メモリー全初期化	
	全初期化	

変更後の初期化メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	ランプ点灯時間初期化	
	メモリー全初期化	
	全初期化	
	全初期化(工場出荷状態)	

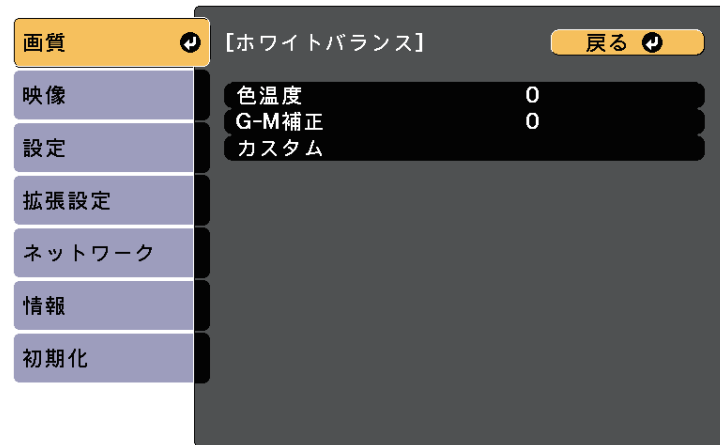
[全初期化(工場出荷状態)] では、本機のすべての設定を初期化します。ただし、パスワードプロテクトされている項目は初期化されません。

初期化するには初期化専用のパスワードが必要です。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。

色温度のケルビン指定

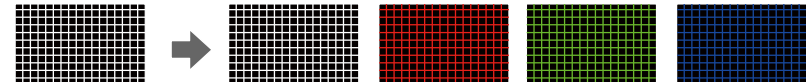
すべてのカラーモードで色温度をケルビン(K)で設定できます。

変更前の設定値 (Ver.1.00でカラーモードが [sRGB] または [DICOM SIM] のとき)

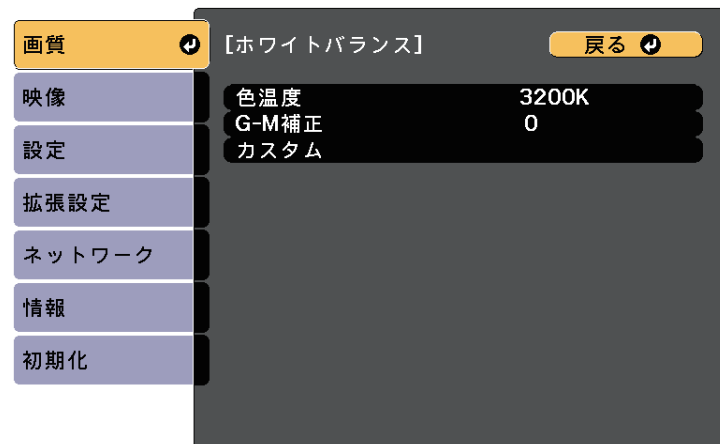


クロスハッチテストパターンの色選択

クロスハッチのテストパターンの色が従来の黒に加えて、赤、緑、青からも選択できます。



変更後の設定値 (Ver.2.10ですべてのカラーモード)



操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」

[p.16](#)

レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができません。

変更前のフォーカス調整（Ver.1.00）

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整をすると、メッセージは消去されます。

変更後のフォーカス調整（Ver.2.10）

レンズキャリブレーションメッセージを消去せずにリモコンまたは操作パネルの【▲】【▼】ボタンを押してフォーカスを調整できます。

付録

次の点にご留意ください。

▶ **関連項目**

- ・「一般のご注意」 [p.18](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.18
- ・「商標について」 p.18
- ・「著作権について」 p.18

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2018. All rights reserved.

Rev.1.0 2018.09 413730700JA

Rev.1.1 2019.02 413730701JA